

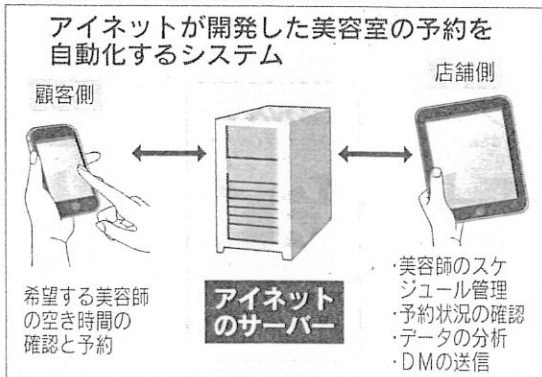
(株) アイネット

美容室向け予約システム

クラウド活用 店側の利用料安く

アイネット

ソフトウェア開発のアイネット(福井市、下牧一郎社長)は電話でのやり取りが必要だった美容室の予約を自動化するシステムを開発した。一般の顧客がスマートフォン(高機能携帯電話)・スマホを使って簡単に予約できる。店舗側の利用料を低価格に抑えたのが特徴で、今秋のサービス開始から5年間で約5万店での採用を目指す。



5年で5万件契約目標

システムの名称は「サロンクラウドシステム」。予約をしようとする顧客はスマホに標準搭載されているブラウザで同システムのウェブサイトを訪問し、お目当ての美容室の専用ページを開くと、30分単位で区切った各美容師の空き時間帯が表示される仕組みで、希望する時間帯を指で押すだけで予約することができ、パーマの種類など施術の中身も細かく指定

することが可能だ。店舗側は米アップルの

多機能携帯端末(タブレット)「iPad(アイパッド)」を使って美容師のスケジュールを管理し、予約状況を確認する。来店希望日から数えて何日前まで予約を受け付けるかを設定したり、特定の期間をスマホ側では空き時間帯として表示されないようにしたりする機能も備えた。

サロンクラウドは過去のすべての施術の記録や顧客の来店履歴をデータベース化しており、施術ごとの人気をグラフで表示し、分析することができ、来店頻度の少ない顧客や新たに始めた施術を利用したことがない顧客を抽出し、案内のメールを一斉に送るといった一連の作業もアイパッド上で行える。

同システムはすべてのサービスと情報がインターネット上で提供されるクラウドシステム。サービスをj利用する際にスマホやタブレットにソフトを新たに組み込む必要はない。顧客や店の情報が端末に一切残らないため、店内にあるどのアイパッドを使っても同じデータを呼び出せるうえ、盗難や紛失による情報流出の心配もない。

サービス利用料は登録する美容師が1人の場合は月額1580円、2人以上では3150円。価格を抑えることで、全国に約23万店あるとされる美容室の2割に相当する、約5万店での採用を狙う。美容室以外の業種向けのシステムも「数カ月あれば開発できる」(下牧社長)といい、美容室向けのサービスが軌道に乗り次第、他業種での展開を目指す考え。

アイネットは1990年の設立で、本業は販売・在庫管理システムの受託開発。2012年3月の売上高は約3500万円。